

学科 学年	D 4	科目 分類	ドイツ語 I A	講義	前期	学習教育 目標	担当	大久保 清美
			German I A	必修	2単位	C		OHKUBO Kiyomi
概要	<p>近年のヨーロッパ統合の動きに伴い、世界におけるヨーロッパの重要性はますます高まってきている。中でもドイツは、地理的のみならず、経済的・政治的にも、東へ拡大する欧州連合（EU）の中心である。従ってドイツ語は、ヨーロッパにおいてはコミュニケーション言語としての重要性も高めてきている。</p> <p>しかし、ヨーロッパから遠く離れた日本においては、ドイツ語のコミュニケーション言語としての需要は少ない。従って、日本におけるドイツ語教育はむしろ、ドイツあるいはヨーロッパの民族・文化・生活様式等に対する理解に価値を置くべきだろう。ドイツ語との出会いは異質な世界との出会いである。学生が授業で出会う異質な世界を良く理解し、異質な世界との取り組みから自分自身の世界を更に良く理解するならば、すなわち学生の経験の地平が広げられるならば、それはまた、学生の人格形成に寄与するものである。</p>							
科目目標 (到達目標)	<p>外国語としてのドイツ語（DaF）教授法の分野で上記のような考えに基づいて1980年代後半から発展してきたのが「異文化間コミュニケーション・アプローチ」（Der interkulturelle Ansatz）である。本授業においても、この教授法が重視する「テーマ・内容」を授業の中心に据え、その各々についてドイツ事情と日本事情とを比較することにより、異文化理解・自文化理解を深めることを目標とする。</p>							
教科書 器材等	<ul style="list-style-type: none"> ・ハロー・ミュンヘン（関口一郎編著、白水社） ・ドイツ事情等の異文化理解のための補助手段として、各種ビデオ、テレビニュース、映画、音楽等のメディアを随時授業に投入する。 							
評価の基準と 方法	<p>定期試験の平均成績を80%、授業への積極姿勢を20%として評価する。60点以上を合格とする。</p>							
関連科目	英語							
授業計画								
第 1回	ドイツ語はこんな言葉です／ドイツ及びドイツ語圏の国々							
第 2回	アルファベット・発音							
第3～8回	<p>Lektion 1 : Guten Tag, in München</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疑問詞 ・動詞の現在人称変化 ・定形の位置 ・seinの現在人称変化 ・疑問文中の動詞の位置 ・接続詞 <p>*数詞／学問名／国名と言語名／スポーツ名と楽器名</p>							
第9～14回	<p>Lektion 2 : Klaudia geht in die Stadt</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名詞の性と冠詞 ・否定冠詞kein ・habenの現在人称変化 ・所有冠詞 <p>* 1格と4格の用法／否定の仕方／いろいろな挨拶</p>							
第15回	前期中間試験							
第16回	ドイツ歌曲を聴く・歌う							
第17～22回	<p>Lektion 3 : Eine Wohngemeinschaft</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不規則動詞の現在人称変化（1） ・不規則動詞の現在人称変化（2） ・duに対する「願望・依頼」の表現 ・名詞の複数形 <p>*Michaelのアパート</p>							
第23回	ナチズム・冷戦・ベルリンの壁・ドイツ再統一							
第24～29回	<p>Lektion 4 : Eine Reise nach Salzburg</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分離動詞 ・不規則動詞の現在人称変化（3） ・dieserとwelcher <p>*時刻の言い方／ドイツの鉄道路線</p>							
第30回	前期末試験							
オフィス アワー	月曜日15時～16時30分							
備考	<p>本授業に関する質問は、次のメールアドレスでも受け付ける。 ohkubo@numazu-ct.ac.jp</p>							